

### 道の駅石狩「あいろーど厚田」



国道 231 号沿いに初めてできた全国でも珍しい 3 階建ての道の駅。最上階のデッキフロアからは雄大な日本海や厚田の街並みを眺めることができます。飲食店も 4 店舗あり、厚田産そば粉を使用した十割そば、ジェラート、ピザ、そしてニシンと数の子の

親子バッテリーなどを提供しています。

1 階の物販コーナーには地元ならではの食べ物やグッズが 600 品目以上並んでいます。歴史文化を紹介するコーナーもあり、かつて厚田地区がニシン漁で栄えていた頃の様子や、北前船のジオラマが展示されています。

**所** 厚田区厚田 98・2  
**開** 月により営業時間が異なります。(株)あい風の HP でご確認ください  
**☎** 78-2300 (株あい風)

### 恋人の聖地／厚田展望台



プロポーズするのにふさわしい観光スポットとして、2006 年 7 月、北海道で初めて「恋人の聖地」に認定されました。展望台から望む雄大な日本海や夕日は大変美しく、多くの方が訪れる人気のスポットです。4～10 月頃までの、雪のない時期がおすすです。

**所** 厚田区厚田 (石狩市あいろーどパーク内)  
※道の駅から徒歩 7 分  
**☎** 78-2300 (株あい風)

### 厚田キャンプ場

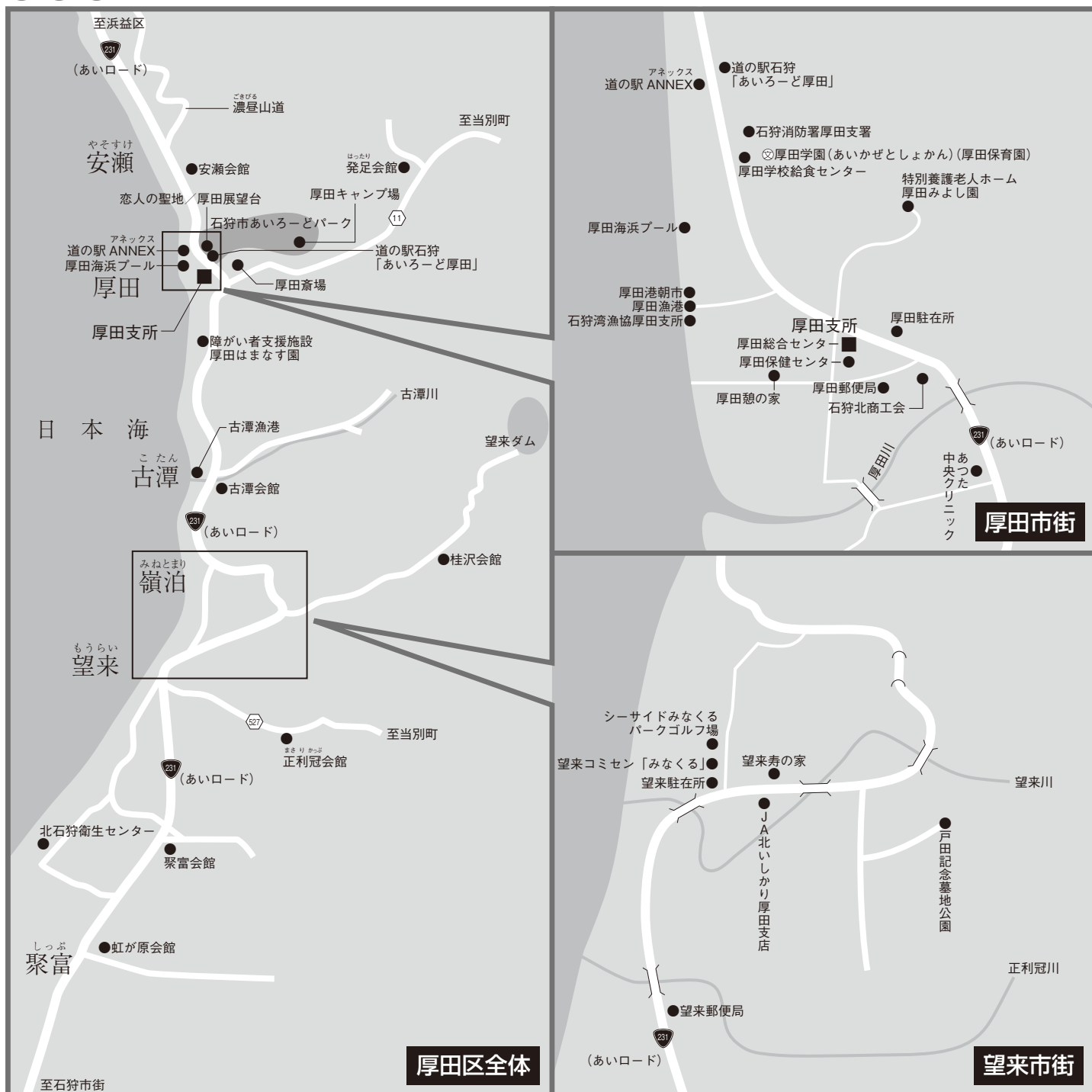


炊事場、水洗トイレ、バーベキュー施設、遊具などが整っています。

場内を流れる牧佐内川では、9 月中旬から 10 月中旬までサケの遡上を間近で観察することができます。

**所** 厚田区厚田 120  
**開** 4 月 29 日～10 月 31 日  
**料** 中学生以上 200 円  
小学生 100 円  
持込テント 1 張 1,000 円  
(日帰り 500 円)  
**☎** 78-2100 (管理センター)  
※営業期間外は  
**☎** 78-2300 (株あい風)

## 厚田区 MAP



## 厚田支所



**所** 厚田区厚田 45・5  
**時** 平日  
 8時45分～17時15分  
**休** 土・日曜、祝日、  
 年末年始  
 (12月29日～1月3日)  
**☎** 78-2011(代表)

## 浜益支所



**所** 浜益区浜益 2・3  
**時** 平日  
 8時45分～17時15分  
**休** 土・日曜、祝日、  
 年末年始  
 (12月29日～1月3日)  
**☎** 79-2111(代表)

## サクランボ狩り



浜益区の幌地区にある果樹園では、例年7月から8月にかけて、サクランボ狩りを楽しむことができます。  
**☎** 79-5700  
 ((一社)石狩観光協会浜益事務所)

## 増毛山道(北海道遺産)



江戸時代末期に幕府の命を受け、1857(安政4)年に増毛の漁場請負商人「伊達林右衛門」によって開削された山道であり、2016(平成28)年10月に地元有志らによって、浜益区幌と増毛町別笈を結ぶ全線が復元されました。2018(平成30)年には、濃昼山道と合わせて北海道遺産に認定されています。

**所** 浜益区幌～増毛町別笈  
**☎** 0164-56-0003(NPO 法人 増毛山道の会)

## 浜益区MAP



## こがねやま 黄金山



浜益区の象徴である秀峰・黄金山は標高739.1m。その姿から「黄金富士」「浜益富士」と呼ばれ

ています。頂上からは暑寒別連峰はもとより遠くは積丹半島までが一望できます。  
 2009(平成21)年7月、文化庁よりアイヌ文化に関する名勝として指定を受けました。山開きは毎年5月の第3日曜日。

**所** 浜益区実田  
**☎** 79-2213  
 (こがね山岳会事務局)

## はまます郷土資料館

(石狩市指定文化財/旧白鳥家番屋)



建物は、白鳥家が経営していた鱈建網漁場の番屋であり、1899(明治32)年に建てられたも

のを復元し郷土資料館として現代によみがえらせたものです。

**所** 浜益区浜益 77・1  
**料** 大人300円、  
 団体(15人以上)240円、  
 中学生以下無料  
**休** 火曜(祝日の場合は翌日)、11月1日～  
 4月30日  
**☎** 79-2402

## 千本ナラ



「新日本名木百選」に選定されている樹齢800年以上の大木が、送毛山道頂上付近にひっそりと息づいています。願いがかなうパワースポットとしても知られ、「すくう」にちなんで、願い事が書かれたたくさんのしゃもじが供えられています。

**所** 浜益区「毘砂別送毛線」の山頂付近  
**☎** 79-5700  
 ((一社)石狩観光協会浜益事務所)

## ごきびる 濃昼山道(北海道遺産)



厚田区安瀬から濃昼までを結び、約11kmの山道。江戸時代から幕府の北方警備の要所として、また厚田から留明に抜ける生活道

路として利用されてきました。国道231号が開通したことで「忘れられた道」となっていたのを、2005(平成17)年に保存会によるボランティア整備で復元。海を望みながらのトレッキングを楽しめます。

**所** 厚田区安瀬～  
 浜益区濃昼  
**☎** 79-2213  
 (こがね山岳会事務局)